



赤旗 読者通信 改題
2009.9.13
通巻No. 978
日本共産党
小矢部市委員会
市内七社 245
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

党市政策委員長
石山忠義
Tel 67-3525

党県政対策委員
上田ゆみ子
Tel 68-2106

禁無断転載
複写配布

ドキュメンタリー映画 「鶴彬 こころの軌跡」 上映

反戦川柳作家の生き方に勇気をもろう

ドキュメンタリー映画「鶴彬 こころの軌跡」の上映会が9月5日、総合会館大ホールで行われました。小矢部上映実行委員会は次のようなコメントを寄せました。

この映画、絵にたとえれば、スケッチにわずかな水彩を施したような、淡く粗削りのもの。しかしそこに見えてくるものは――

瑞々しい感性を持った、さびしがりやの少年、喜多一二。

マッチの棒の 燃焼にも似た いのち
暴風と 海との恋を 見ましたか

職なく、食にこと欠き、居場所もなく、そして、現実のあるがままに目覚め、虐げられた人々にあたたかい眼を注ぎ、出兵反対へと突き進む鶴彬。

都会から 帰る女工と 見れば病む
軍神の 像の真下の 失業者
出征の あとに食えない 老夫婦

毅然として風に向かつて立つ若者と、それを必死の思いで支える川柳の師匠や仲間。

枯れ芝よ！ 団結をして 春を待つ
暁を 抱いて闇に いる蕾み

――それらが観る者に、勇気を与え、人々の思いを人権と平和の憲法に結晶させた歴史の流れを、思いつかせてくれました。

鶴彬とは
鶴彬(る・あきら)は石川県高松町生まれの川柳作家で、本名を喜多一二(きた・かつじ)といいます。昭和初期、日本の中国侵略戦争が開始された頃、反戦の川柳をたくさん作って、特高警察につかまり、牢獄で赤痢にかかり、29歳で死亡しています(1938年9月14日)。

感想 (アンケートより)

- ☆「淡々とした展開の中に、鶴彬の心の動きが良く表わされていた。川柳がトモ印象に残り、心を打たれた。鶴彬を演じた池上リョウが良かった。」(50代男性)
- ☆「高松あたりの海が好きで、海の映像がトモよいと思った。最近仕事を休んでしまうことがあるので、仕事があることを感謝し、自分に厳しくしたいと改めて思いました。」(30代女性)
- ☆「文化活動も命がけの時代があって、今の自由な時代があることを感慨深く思った。」(50代女性)
- ☆「青年が生きにくい世の中が、伝わってきた。現代にも似ているところあり。当たり前に考えて(思いついた)ことを言うことが、罪になるような世の中にしてはいけない。」(50代女性)
- ☆「若い人の多くに観てもらいたい映画だ。今日の時代に、多くの国民に考える機会を与える名作だとおもう。」(60代男性)

市役所1階の照明をLEDに

市役所1階の蛍光灯をLED(発光ダイオード)照明に取り替えます。電力消費量を減らし、照明器具の寿命ももっと長くできるため、地球温暖化対策にも役立ちます。日本共産党は今年予算要望の中で、街灯の蛍光灯をLED照明に取り替え、町内会の電気料負担を減らすことも提案しています。

また市役所の窓ガラスに遮熱性塗料を塗り、室温の上昇を抑えます。

学校のテレビを地デジ対応に

各小中学校の教室に設置されているテレビ104台を、地上デジタル放送を受信できるものに一斉に取り替え、大型画面の電子黒板も各学校に1台ずつ配置します。各地区公民館のテレビも地デジ対応のテレビに替えます。今年、日本共産党の政府交渉で、文部科学省が景気対策で盛んにPRしていたものが予算化されました。

9月議会

砂田市議 民生文教常任委員会 に所属

9月市議会が8日から24日の日程で始まり、初日の8日には議長・副議長の私約交代とともに、各議員の所属委員会の変更が行われました。

砂田喜昭議員は民生文教常任委員会、新幹線対策・企業立地等特別委員会に所属し、上水道審議会委員、2008年度決算を審査する決算特別委員になりました。

なお、一般質問は9月14日(月)、15日(火)に行われる予定です(質問者が少ない場合、15日は休会)。

9月議会提出議案 国の景気対策で大規模な補正予算

小矢部市は9月議会に一般会計補正予算をはじめ10議案と決算認定案件などを提出しました。
一般会計補正予算は8億3982万円で、近年になく大規模なものです。このうち2億2千万円を財政調整基金に積み立てるほか、国の景気対策を受けて6億円余の予算で各種事業に使います。国・県からの補助金は4億8千万円余です。

石動津沢中学校に太陽光発電設備

主な事業としては、3千8百万円で石動、津沢両中学校に太陽光発電設備を設置します。砂田市議は「地球温暖化対策として、原発依存から自然エネルギーへ政策転換を求めて、公共施設に太陽光発電をと、2001年12月議会以来、今年3月議会まで繰り返し取り上げてきましたが、いよいよ、その実現の一步が始まります。